

心肺蘇生法を学習して

射水市立新湊南部中学校 2 学年



6月18日、射水市医師会の医師や看護師、新湊消防署の救急救命士、女性消防団員の方々を講師に迎え、心肺蘇生法実技講習会を行いました。命の大切さや救急車が来るまでの応急手当の手順を実習人形やAEDトレーナーを使って学びました。



今日、初めて、心肺蘇生法の講習を受けました。話を聞いているうちは、簡単そうだったけど、実際にやってみると混乱しました。本当に、誰かが倒れていたら、落ち着いてできるかとなると、冷静にはできないかもしれません。けれど、何もできないような状態にはならないと思います。

「もしも」の時に、活用できるように、今日の内容を忘れないようにしたいです。

心肺蘇生をすることで、生存率がかなり上がることが分かりました。心臓マッサージはかなりの力と速さでやらなければならないので、大変でした。実際に、倒れている人がいた時に、しっかり行えないと、命を救えないと思いました。

もしもの時に、今日のことを思い出して、対処できるようにしたいです。



人を助けるということは、とても大変だと感じました。実習で、心臓マッサージを30回するだけでも、とても疲れたし、手が痛くなりました。救急車が来るまでの7分間も、それを続けなければならないので、人を救うこと、助けることの大変さや命の重さを感じました。今日は、1つ1つ確認しながらやったので、できたけれど、もし、本当に人が倒れていたら、動揺してしまうし、今日よりもしっかりとやらなければいけないと思いました。

たった今、人が倒れたら、前の僕だったら、「誰か、やってくれるだろう。」とやじうまになっていたと思います。けれども、今日の講習で、「誰か」というのは、「自分」なんだということが、分かりました。全てのことを冷静に行い、1秒でも時間をかせぐ、最後の命綱だと思います。

生きていの中で、いつ、そんな事が起こるか分かりませんが、僕は、一人でも多くの人の命綱になりたいです。





今日で、2回目の講習だったけど、やっぱり、うる覚えでした。いつ、何が起こるか分からないからこそ、このような機会に、しっかりやっておかなければならないのだと思いました。

たぶん、いざとなると今日のように、手際よく、できないと思いますが、今日やったことを忘れず、生かしていきたいです。

実際、倒れている人に心肺蘇生法をするのは、とても難しいことだと、体験してみることができました。私が、最も難しく、できなかったのは、心肺を強く押して刺激を与えることでした。30回するのに、時間がかかってしまいました。

この体験をして、人を助ける仕事は、とてもすてきだなと思いました。私の将来は、まだ分からないけど、私も人を助ける仕事につきたいと思います。もし、自分のしたこと、人の命が助かるのなら、1秒1秒を大切にしていきたいです。



今回、初めて救命処置をしました。私が一番、難しいと感じたのは、胸骨圧迫です。強く、まっすぐに押すのは、すごく疲れて大変でした。

今回、教えてもらったことを、やったか、やらなかったかで、その人の命は、決まってしまう。人生に一度も必要ないかもしれません。でも、もしもの時に、人の命を救える人になりたいです。今回、学んだことを大切に、もしもの時に、動けるようになりたいです。

今日の講習で、心肺蘇生法の仕方が分かりました。心臓マッサージをする時の手の位置や力の強さは、実際にやってみると思っていたよりも難しく大変でした。

もし、何かがあっ時には、人まかせにはせず、今日のことを思い出して、自分から、人のためにできることをしたいです。



— 生徒お礼の言葉より —

今日は、僕たちのために心肺蘇生の講習を行ってくださり、ありがとうございました。講習会で学んだことは、いつ、どこで必要になってくるか、分かりません。もし、具合の悪い人に出くわした時に、知識があると、自分のしたこと、人を救うことができると思うと、今日の学びを忘れずに、生かしたらいいなと思いました。

今日、学んだことによって、人を救うために、僕たちの力は「微力」かもしれませんが、「無力」ではないことに自信をもてました。今日は、お忙しい中、本当にありがとうございました。